

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	森 篤史
主な担当科目	イヤートレーニング,コードプログレッション(アドバンス),コードプログレッション(ベーシック),サウンドクリエイト①,サウンドクリエイト②,ポピュラー作曲・編曲法①,ポピュラー作曲・編曲法②,メディア創作演習④,メディア創作基礎Ⅱ,鍵盤ソルフェージュ①,聴音・視唱ソルフェージュ②
シラバス	<a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a> <a href="#">※画面下「シラバス」&gt;「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック</a>
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	よりきめ細かな個別ケアの強化とデジタルツールの適切な活用に焦点を当てる。対面授業の質を高める一方で、ペーパーレス化や課題共有の効率化を進めることを重要視する。ソルフェージュ教材の更新と新しい電子テキストの導入により、学生の理解を深めることを目指す。これらの取り組みにより、学生の学びがより充実し、教育の質が向上することを期待する。
2023年の教育に関する自己評価	設定した目標に対して大きな進歩が見られたと感じている。個別ケアの強化とデジタルツールの活用に努め、学生の学びに良い影響を与えることができた。対面授業の質を保ちながら、ペーパーレス化や課題共有の効率化に取り組んだ。ソルフェージュ教材の更新と新しい電子テキストの導入は、学生の理解を支援する上で役立った。これらの取り組みを通じて、教育の質の向上に寄与できたと考えているが、さらなる改善の余地も認識している。
2023年のFD活動に関する自己評価	全てのFD研修会に出席している。
授業改善のために取り入れた研修内容	コロナ明けということで、全てのFDを対面で実施できた。ソルフェージュの学内組織では徐々に各種目別に別れて教員同士で指導ノウハウを共有できたほか、ジャズ・ポピュラー音楽の学内組織においては新任教員が数名増え、より密なコミュニケーションを取り、指導ノウハウや日頃の学生対応、特に留学生への対応など、多くの事項を非常勤講師と共有できた。

## 2023年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:1662 教員名:森 篤史

### 1)アンケート結果に対する所見

学生の授業に対する満足度は全体的に高く、特に授業内容の有用性や授業の進行に対する肯定的な意見が目立った。多くの科目で、学生は教員とのコミュニケーションや学習成果に対する工夫が評価されていた。ただし、一部の授業では予習・復習の取り組みがやや不足しているとの評価も見られた。

### 2)要望への対応・改善方策

学生からの要望として、授業のシラバスに詳細な課題の説明を追加することや、授業中の静寂を保つ環境作りが挙げられていた。これに対し、今後はシラバスの充実や、授業中のルール設定をより明確にすることで、学修環境の改善を図りたい。また、個別のフィードバックを重視し、学生の学修意欲をさらに引き出すような工夫を行う。

### 3)今後の課題

授業の進行に関しては概ね良好だったが、予習・復習の取り組みが不足している学生への対応や、授業中の集中力を保つための改善が必要とされた。また、聴音や視唱の難易度調整など、学生個々のレベルに合わせた指導が求められている。引き続き、学生からのフィードバックを元に授業内容の質を向上させていく必要がある。

以上